

事務事業 No./名称	□サービス部門 教育-01 教育委員会運営事業 ■支援部門						
主管課	教育総務課	関連課	教育部及び文化財部				
分野名	学校教育・生涯学習・青少年育成						
目標 (目標値)	公平かつ公正で時代に則した的確な教育委員会の運営を行う						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	5,413	6,169	5,786			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	5,413	6,169	5,786			
	人員配置数	1.3	1.5	1.5			
	人件費(千円)	10,656	13,261	13,211			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	16,069	19,430	18,997			
	市民1人当りの経費(円)	91	110	107			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
教育委員会定例会等会議公開状況	◎	目標値	13回	13回	13回	13回	13回
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	13回	13回	13回	14回	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
教育委員会運営事業	5,413千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ □A ■B □C □D □E	
	事業の概要	・教育行政諸課題への対応を図るため、教育委員会定例会、臨時会等を開催した。 ・教育行政諸課題について他市町村との連携を図った。			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	教育委員会及び教育委員の活動状況の更なる情報発信		
課題解決のための取組	鎌倉市ホームページに教育委員会の活動状況や教育への考え方を掲載し、内容の充実を図った。	取組の結果	■解決 □未解決
未解決の課題	ソーシャルメディアの活用		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了	
	➡	②妥当性 ○		↓	今後も、学校訪問など、委員が積極的に教育現場等に開 わる機会を設けていく。	課長等名
③有効性 ○		B				教育総務課担当課長
④公平性 ○						原田 幸子

